

編集後記

イギリス人は話題に窮すると、とりあえず天候のことを話題にするそうです。それがこの頃事情が変わってきたと言います。話題に窮すると、とりあえず新型コロナのことを話すそうです。世相を反映してのことですが、それはイギリスに限った話でもないように思います。特に最近、顔を合わせれば話題は、コロナワクチンは打ったか、だったりします。まずは高齢者からということで、特に高齢者にとって（私も含まれますが）日常の挨拶になっています。天候の挨拶が気楽かという、必ずしもそうではないですね。今年は熱海で大雨の影響で大規模な土石流が発生し沢山の犠牲者が出ました。地球温暖化の影響かもしれませんが、天候は深刻な問題でもあります。

COVID-19 の蔓延で閉じこもりの生活を長い間強いられてきました。さて、こんな中ですが今年も同窓会誌第5号をお届けすることが出来ました。多くの方に原稿をお寄せいただき、感謝に絶えません。閉じこもりの生活で筆が進んだという方もおられるかもしれませんが、しかし、資料を確認するのもままならず、むしろ苦勞をされた方の方が多いのではないかと思います。困難な中、皆さんには原稿を書いていただき本当にありがとうございました。

松本和一郎さん、河野敬雄さんの連載は今回で最終回となります。長い間の連載ありがとうございました。いつも楽しみにしていましたが、これが最後かと思うと寂しさを感じます。また何か書いていただければ幸いです。実際、同窓会誌の記事集めをどうするかがこれからの課題です。皆様からの積極的な投稿をこれからもよろしく願いいたします。

新型コロナに関しては、まだまだ収束の見通しもままならない状況です。皆さんどうぞ、健康にお気をつけてお過ごしください。

（編集長 重川 一郎）